

# 煮干しの解剖

科目責任者 藤ノ木 政 勝

学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

脊椎動物は魚類でその基本形態が確立し、陸上に進出するにしたがって四肢が形成されていった。ヒトも含めた脊椎動物の体幹構造を理解する上で、魚類をモデルとして基本構造を理解する機会としたい。煮干しはイワシを加工した食品であるが、骨格など基本構造を保持している。生体を解剖することは生命倫理上の課題も多いが、煮干しではその懸念はなく、生体の解剖では観察の困難な角度からの解剖や観察も可能であるため、良い機会として学んでもらいたい。

## II. 担当教員

准教授 藤ノ木 政 勝 (先端医科学研究センター生殖医学研究室)

## III. 一般学習目標

・煮干しを解剖し脊椎動物の体幹の構造を詳しく学び、ヒトも含めた脊椎動物の体の構造の基礎知識を得る。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 頭蓋から頸椎・脊椎の骨格構造を説明できる。
- 2) 脊椎と脊髄や筋の位置関係を説明できる。
- 3) 脳や眼球の基本構造を説明できる。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	7	8	水	5	煮干しの解剖の手順説明	藤ノ木 政 勝	
2		15	水	5	煮干しの解剖 (頭蓋から頸椎・脊椎の取り出しとスケッチ)	藤ノ木 政 勝	4
3	8	19	水	5	煮干しの解剖 (頭蓋から脳の取り出しとスケッチ)	藤ノ木 政 勝	4
4		26	水	5	煮干しの解剖 (頸椎・脊椎と脊髄・血管のスケッチ)	藤ノ木 政 勝	4
5	9	2	水	5	煮干しの解剖 (心臓, 消化管等の内臓のスケッチ)	藤ノ木 政 勝	4
6		9	水	5	煮干しの解剖 (筋肉の配置と脊椎と肋骨のスケッチ)	藤ノ木 政 勝	4
7		9	水	6	スケッチのまとめとレポート作成	藤ノ木 政 勝	5

## VI. 評価基準 (成績評価の方法・基準)

実習への参加状況 (50%), レポート (50%) により評価する。

## VII. 教科書・参考図書・AV 資料

VIII. 質問への対応方法

問い合わせ先：fujinoki@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

観察するべきポイントについて随時解説します。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事後学習として、両生類や哺乳類の構造との比較を行う。

XII. コアカリ記号・番号

PR-03-01-01, RE-01-01-02, PS-01-01-13